

交通アクセス

JR東京駅→かずさアカデミアパーク、
高速バスで約65分!
都心と直結した優れた交通アクセス



●高速バスご利用の場合

バスターミナル東京八重洲（アクシー号）……………約65分

※羽田空港・品川・川崎・横浜・渋谷からはJR木更津駅行きの高速バスをご利用のうえ、
JR木更津駅から路線バスをご利用ください。JR木更津駅～かずさ（約25分）

●車利用の場合

【東京湾アクアライン経由】

東京都心～木更津北I.C.～かずさ……………約65分

羽田空港・川崎～木更津北I.C.～かずさ……………約45分

横浜～木更津北I.C.～かずさ……………約55分

【東関東自動車道経由】

東京都心～木更津北I.C.～かずさ……………約80分

成田空港～木更津北I.C.～かずさ……………約75分

●JR利用の場合

JR東京駅～JR木更津駅〔特急〕約55分・〔快速〕…………約80分

※JR木更津駅からは路線バスをご利用ください。（約25分）

かずさアカデミアパーク全体図



お問い合わせ

かずさインキュベーションセンター（指定管理者：株式会社かずさアカデミアパーク）
〒292-0818 木更津市かずさ鎌足2-1-5 TEL 0438-20-5071 FAX 0438-20-5072
<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/incubation/kic.html> E-mail: kic@kap.co.jp

千葉県商工労働部 産業振興課 ベンチャー振興班
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 TEL 043-223-2798 FAX 043-222-4555
<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/> E-mail: sangyo-v@mz.pref.chiba.lg.jp

2026年3月

新産業の創造拠点 かずさインキュベーションセンター

KAZUSA INCUBATION CENTER




Kazusa Akademia Park
千葉県

設置の目的

かずさアカデミアパークは、東京湾アクアライン・圏央道などにより、首都圏各地及び成田・羽田両空港へのアクセスが飛躍的に向上しています。

このような環境のもと、かずさインキュベーションセンターは、かずさ DNA 研究所などの研究成果を活用し、新産業の創造を支援するとともに、かずさアカデミアパークへの企業立地の促進を図ることを目的として千葉県が設置し、P2 レベルに対応した賃貸式の研究開発施設です。

入居条件等

入居資格

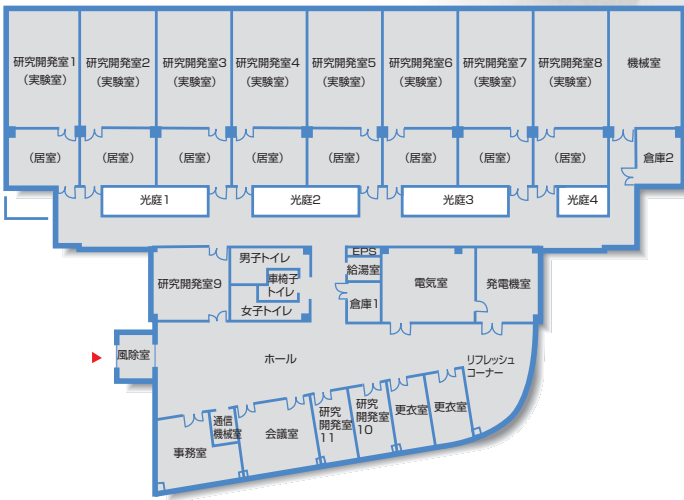
- ①企業の事業活動として使用するものであって、かずさアカデミアパークに立地する民間の研究所等による研究成果を活用して研究開発を行うことが必要なもの。
- ②その他、研究開発を支援する事務、研究等を行うもので指定管理者が適当と認めるもの。

月額使用料〈税込み〉

研究開発室1～8	研究開発室9	研究開発室10～11	駐車場
233,900円	99,100円	50,200円	1台1,500円
(175,400円)	(74,300円)	(37,600円)	

※カッコ内は、中小企業基本法第2条に規定する中小企業者で、創業の日から5年以内のもの

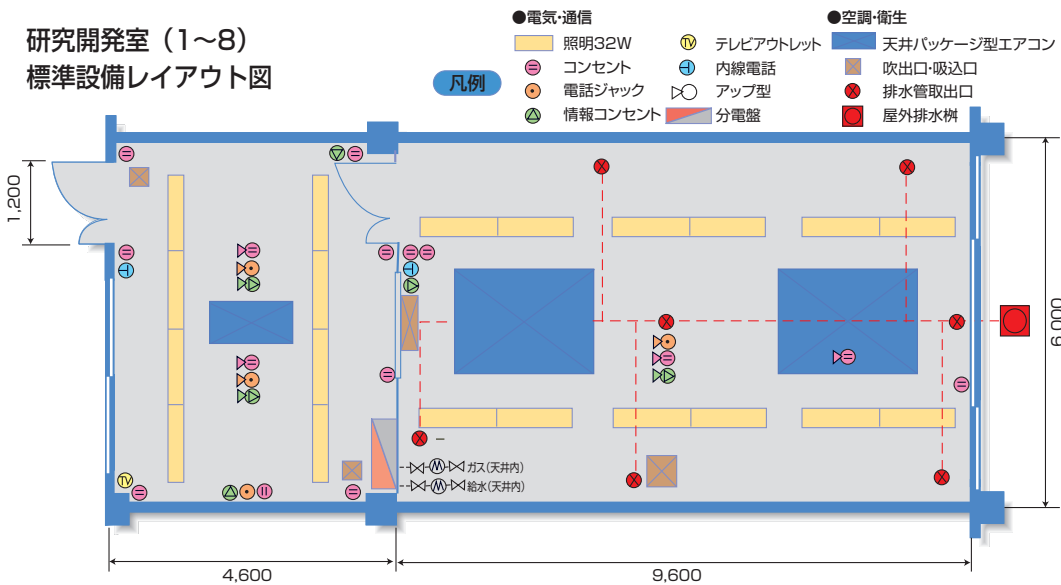
平面図



注意事項

- 原則として、入居期間は5年以内です。
- 月額使用料には、共益費が含まれます。
- 研究開発室の光熱水費及び電話料金等は、別途ご負担いただきます。
- 研究開発室内の改造等は、指定管理者の承認を受けて実施していただきます。
- 環境保全関係法令及び当施設が千葉県及び木更津市と締結する「かずさ環境協定」を遵守していただきます。
- 入居を希望される方は、入居審査を受けていただきます。
- その他詳細は、千葉県かずさインキュベーションセンター設置管理条例、同管理規則による他、千葉県及び指定管理者である株式会社かずさアカデミアパークが別に定めるところによります。

研究開発室（1～8）
標準設備レイアウト図



施設概要

所在地	千葉県木更津市かずさ鎌足2-1-5 (かずさアカデミアパーク内)
開所	1999年4月
敷地面積	約32,000㎡
延床面積	1,449㎡（その他付属棟〔倉庫〕36㎡）
構造	鉄筋コンクリート造平屋建
研究開発室	1～8(1室約85㎡)／9(約36㎡)／10～11(約18㎡)
機能	「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づく拡散防止措置区分P2レベルに対応する処理設備を整備しており、必要な場合はP3レベルの実験設備が可能な構造となっています。 (研究開発室1～8)
共用施設	共用会議室、リフレッシュコーナー、駐車場等



リフレッシュコーナー
リフレッシュや商談の場としてご利用いただけます。自販機、情報誌、新聞を設置しており、無線LANもご利用可能です。



研究開発室1～8
居室と実験室のセパレートタイプで、事務作業と実験を安全に効率よくご利用いただけます。



共用会議室
商談や会議(18名)に無料でご利用いただけます。プロジェクタを無料で貸し出ししております。無線LANもご利用可能です。



研究開発室10～11
オフィスとしてもご利用いただけます。

貸室仕様

研究開発室1～8（研究開発室9～11は、電源・給排水などの仕様が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。）

建築・内装	床	●ビニールシート ●積載荷重 500kg/㎡(居室、実験室)
	壁・柱型	●石膏ボード、ペンキ仕上げ(居室) ●ケイ酸カルシウム板、ペンキ仕上げ(実験室)
	窓	●アルミサッシ、透明ガラス
	天井	●化粧石膏ボード、高さCH=2,500mm(居室) ●ケイ酸カルシウム板、ペンキ仕上げ、高さCH=2,600mm(実験室)
	廊下及び実験室出入口扉	●親子開き鋼製軽量戸(W1,250×H2,100)
	ブラインド	●実験室窓側にアルミ横型ブラインド(手動)を用意
入居者名表示		●居室入口扉脇に表示板設置

通信	電話	内線電話	●居室及び実験室内に各1台設置
		外線電話	●テナント工事に対応(居室内3カ所、実験室内に1カ所に取り出し口を設置)
防災	テレビ共聴		●居室内に1カ所UHF、VHF、BSのアウトレットを設置
	インターネット		●高速通信回線対応
			●火災報知器、ガス漏れ感知器を設置
空調・給排水	冷暖房設備		●外気処理パッケージエアコン+空冷クリーンエアコン方式(ガス・電気併用) ●各テナント毎に空調器設置、温度調整可 ●研究開発室内は圧力制御を行っています。 ●高性能フィルター標準装備
	給気		●外気処理エアコンにより、換気回数10回/h程度給気
	排気		●排気ファンにより、換気回数10回/h程度排気
	実験機器用排気		●実験室の天井裏に実験用排気ダクトの接続口を用意
その他	実験用給水		●実験室の天井裏に量水器(20mm)と止水バルブを設置 ●20A塩ビライニング鋼管
	実験用排水		●実験室内に7カ所の排水口を用意(室内床スラブでリザーブドレイン止め) ●50A硬質塩化ビニール管
	実験特殊廃液		●実験特殊廃液はテナントによる分別回収 ●排水処理及び滅菌処理後の2次洗浄水以降は実験室内の排水口へ排水可能
	実験廃棄物・危険物保管		●テナントによる保管並びに回収
機械警備システム			●入退出管理カードによるテナント個別警備方式 ●建屋入口も入退出管理カードを使用 ●居室・実験室に各種機械警備装置を設置
	ガス		●実験室の天井裏にコック止め
計量		電力量	●各テナント毎に使用電力量を計算
		給水量	●各テナント毎に計量
		ガス使用量	●各テナント毎に計量

電気	電源容量等 単相200VA/㎡ 三相100VA/㎡ 発電機回路 単相40VA/㎡	●単相200・100V(商用回路)…供給容量 20KVA 主幹ブレーカ 100A、分岐ブレーカ20A×18 〔内訳〕 実験用 100V 10回路 実験用 200V 3回路 照明・空調用 200V 5回路 ※供給容量20KVAは、照明・空調用電源約3KVAを含んだ値です。 ●単相200・100V(商用発電機回路)…供給容量 4KVA 主幹ブレーカ 20A、分岐ブレーカ20A×6 〔内訳〕 実験用 100V 4回路 実験用 200V 2回路 ●三相200V(商用回路)…供給容量 10KVA 主幹ブレーカ 30A、分岐ブレーカ20A×6 〔内訳〕 実験用 200V 6回路
	コンセント	●居室内10カ所、実験室内5カ所に2P15A×2 E付(接地極付、抜け止め式/固定)を設置
	接地端子	●標準分電盤内にA種及びD種を設置
	照明	●0Aルーバー付32W Hf蛍光灯2灯 8台(居室) ●直付下面開放32W Hf蛍光灯2灯 12台(実験室) いずれも机上平均照度≧750Lx ●点灯スイッチ回路は、居室2系統、実験室3系統
	非常照明	●各テナント毎に設置(テナント内の間仕切りに対する非常照明は入居者負担)
	非常用電源	●非常用自家発電機回路に接続可能(入居者負担)